



未来ある
子どもたちが
輝く
平和な社会を
めざして

宇田たか子のあゆみ

* 1963年、群馬県佐波郡境町(現・伊勢崎市)生まれ。両親共に小学校教員。保育園も育児休暇もない時代に4人の子どもを育てながら働く母をみて育ちました。



中央が私・たか子



結婚を祝う

* 小中学校の講師をしているとき、斎藤公子さんのさくら・さくらんぼ保育を知り、「求めていたものはこれだ」と思い、資格をとり保育士になりました。



保育園

* 3人の子どもがまだ小さいときに、夫がガンで亡くなりましたが、保育園の仲間を支えられて働き続け、はなのわ保育園園長も努めました。



市議として

* 原発再稼働や憲法改悪の動きがある中、子どもたちの今と未来を守るために社会を良くしたいと、市議に挑戦。現在2期目、奮闘中。

住所：東石川 TEL 090-2764-6461

宇田たか子さんを わたしも応援します！



はなのわ保育園理事長
坂主 恵子

たか子さんとは、20数年職場をともにしました。「平和」「原発」の姿勢は揺らぐことなく、見ていてほれほれします。どこにでも学びに行く行動力もあります。この8年間、願いの数々を市政に届けてもらいました。これからも、より一層の活躍を期待します。



茨城県学童保育
連絡協議会役員
橋本 幸治

宇田さんのお子さんを3人学童で預かり、宇田さんには役員なども務めていただきました。一人の母親としても、そして保育士としても愛情深く、一生懸命で、それでいて気取らない、皆から信頼される方です。政治の世界に飛び込んで8年、その姿勢は変わらず、常に市民の側に立ち、ともに悩み考え、市政への橋渡しをしてくれます。そんな宇田さんの活躍に今後も期待します。



外野在住
武藤 きよ子

高齢者は心配の種が山ほどあります。転ばないように。病気にならないように。自分の年金で入れる施設は？ 原発事故から避難するには？ 孫たちの生きる世の中は戦争はゴメンです。おだやかな老後を送るためにも、宇田さんに期待します。

民主ひたちなか
2023年号外

日本共産党の見解を紹介します。
発行 / 日本共産党ひたちなか市委員会
連絡先 / 東石川 2996-5 ・ Fax. 272-2112

子育て最優先！ くらし・福祉

日本共産党 市議会議員

宇田たか子

いのちを育む土、水、空気まで汚染された12年前の福島原発事故。今、原発の再稼働に大軍拡で戦争の不安まで。物価高騰でくらしも本当に大変です。10月の選挙で3期目をめざします。安心してくらし続けたい、そのあたり前の願い実現に全力を尽くします。ご支援をどうぞよろしくお願います。



2期8年、毎回議会で
質問・願い実現に全力

実現
しました

保育園の増設、保育料の引き下げ、
子どものマル福の所得制限撤廃

食物アレルギー児受け入れに補助

学校に「置き勉」で登下校時の
子どもの荷物の負担軽減

公設学童クラブの6年生までの受け入れ

市営住宅に単身高齢者の入居可能
な部屋を増やす

宇田たか子
ツイッター



宇田たか子

県内6位の財政力をくらし・福祉の
充実に。守りたいものはいのち。

子育て支援・教育の充実

お金の心配なく子どもを学校に通わせたい。かけがえのない子ども時代を、どの子ども幸せに過ごしてほしい。保護者のみなさんの切実な声・願いをこれからも議会に届けます。

- 3つのゼロ
(子どもの医療費・学校給食費・3歳未満児の保育料)
- 老朽学校施設の改善
- ジェンダーレスの制服、女子トイレ個室に生理用品の設置
- すべての子どもが安心できる環境と学びの保障

高齢者の安心

「人生100年時代と言われても、お金がなくては長生きできない」
こんな社会は変えましょう。高齢者の安心は、政治の責任です。

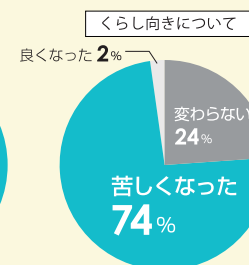
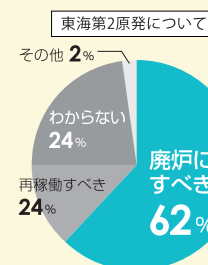
- 難聴者の補聴器購入に補助
- 免許返納後も不便のない公共交通
- 介護保険料、利用料、医療費負担の軽減

東海第2原発の再稼働ストップ

事故が起きたら、二度と元の生活は取り戻せません。
安全で持続可能な再生可能エネルギーを推進します。

憲法9条を守り、平和な社会を

若者が銃を持ち、子どもや高齢者が爆撃から逃げ惑う事態を誰が望むでしょう。武力で平和は守れません。軍拡よりくらしの予算をと、強く求めます。



令和5年度日本共産党わたちなか市委員会が実施した市政アンケート結果より